

臨床研修管理室紹介

皆さんこんにちは。今回は臨床研修管理室の紹介をいたします。

今年は、平成16年度に新たな臨床研修制度が施行されてから10年目にあたります。この制度により医師は大学卒業後の2年間、臨床研修を受けることを法的に義務付けられました。この研修では、将来の専門にかかわらず、社会が求める医師の基本的な診療能力を幅広く学ぶことが目標とされています。この研修に勤しむ医師のことを「研修医」といいます。臨床研修管理室は、研修医が所属する部門です。当院では、現在17名の研修医が、院内の各科をローテートし研修を受けています。臨床研修管理室のスタッフは、医師（室長、室長補佐の2名）、事務局（3名）からなり、研修プロセスだけでなく、生活全般に至るまで研修医一人ひとりの状況に応じた支援を行っています。

新制度が施行されてから、指導医が全責任をもって研修医にすべてを教えた時代から、医師だけでなく他の医療スタッフが研修医の教育に参加し、研修医が主体的に学ぶ時代に変わりました。当院では、全職員を挙げて研修医が伸び伸びと研修できるような環境づくりに努めています。「医師にとって患者のみなさまが最高の教師である。」とは、古くから言われている格言ですが、社会が求める良医に成長するためには、患者のみなさま、ご家族をはじめ地域の方々も研修医の教育に参加することが必要であるといわれるようになりました。名札の氏名の上に「臨床研修医」と書かれている者が研修医です。皆さん、どんなことでも気軽に研修医にお声かけください。みなさまのお言葉が研修医にとって今後研修を行っていくうえで糧となります。どうぞよろしくお願ひいたします。

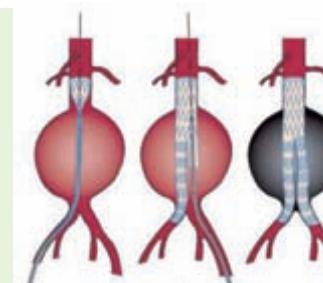
臨床研修管理室長補佐 兼 総合診療科長 佐々木俊哉

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術

腹部大動脈瘤とは、お腹の大動脈の壁が膨らんで“こぶ”的な様になったものです。膨らみが大きくなると大動脈の壁が弱くなり破裂することがあります。この場合、突然の腹痛で発症し、緊急手術をしないと助かりませんし、手術のリスクも大変高くなります。

従来の治療法として、開腹して外科的に“こぶ”的な部分を人工血管に置き換える手術（開腹人工血管置換術）が行われていましたが、この手術は体に対する負担が大きく、すべての患者さんが手術に耐えられるとは限りませんでした。

これに代わる治療法として腹部ステントグラフト内挿術が行われるようになりました。ステントグラフト治療とは、金属製の骨組み（ステント）と人工血管（グラフト）を組み合わせたものをカテーテルで体内に挿入し、弱くなった血管壁を内側から補強し動脈瘤が破裂するのを防ぐものです。この治療の最大の長所は開腹人工血管置換術に比べ、低侵襲で傷も小さく、術後の回復も極めて早いということです。その良好な成績と安全性が明らかになるに従って、当院でも2012年から積極的に腹部ステントグラフト内挿術に取り組んでいます。大動脈瘤と診断されたら、心臓血管外科外来までご相談ください。



〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053(453)7111

: FAX 053(452)9217

URL <http://www.hmedc.or.jp> : E-Mail iryocenter@hmedc.or.jp

発行：浜松医療センター

浜松医療センター広報誌
No.28 (平成25年6月発行)

ふれあい



「出世大名家康くんと当院研修医」

研修医として・・・ Relay Essay

ここには、2年目の浅井雄大です。病院での生活に慣れ、少しづつ仕事も覚えてきました。様々な症例をみて日々勉強させていただいています。私は知識、技術ともにまだ未熟です。自分に何ができるかを考え患者さんとの挨拶、会話など丁寧に行うことを心掛けています。今後も患者さんとの信頼関係を築けるような医師を目指し、日々頑張っていきたいと思います。

研修医 浅井 雄大

皆さんこんにちは。H25年4月より臨床研修医2年となりました北嶋諒です。同時に医師として初めての後輩という存在を得て、嬉しさと共に、昨年度にも増して気が引き締まる思いで日々過ごしております。皆さんにとって頼れる医師となるためにまだまだ精進を重ねて参ります。と言いつつ、自分へのご褒美デザートと、入院している方々との世間話は止められそうにはありません。昨年度から続く運動不足も解消しなければなりません。この前途多難な研修医を見かけましたら、気軽に御声をかけて頂ければ幸いです。

研修医 北嶋 谦

基本理念

安全・安心な、地域に信頼される病院

看護師募集中

~ 詳しくはホームページをご覧ください ~

浜松医療センター

検索

～ご自由にお持ちください～

外来診療担当表

平成25年6月現在

浜松医療センター
医療連携室 053-451-2760
FAX 053-452-9217
代表電話 053-453-7111

受付時間 午前8時30分～午前11時

	月	火	水	木	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
救急科	担当医	担当医	担当医	担当医	後藤 修一	中込 一彰	後藤 修一	後藤 修一	中込 一彰
泌尿器科	後藤 修一	平山 久一	西脇 由朗	林 忠毅	林 忠毅	中山 正彦	中山 正彦	池松 梅人	池松 梅人
消化器外科	金井 俊和	田村 浩章	大菊 正人	中山 正彦	中山 正彦	中山 正彦	中山 正彦	山本 廣史	山本 廣史
外科(甲状腺)	鈴木 雄飛							池松 梅人	池松 梅人
ヘルニア外来	金井 俊和								
手一外外来									
肛門疾患外来									
乳腺外科	小泉 圭	小泉 圭	小泉 圭	小泉 圭	朝井 克之(Am) (Pm予約のみ)	船井 和仁(Pm) (第2・4のみ)	船井 和仁(Pm) (Pm予約のみ)	穂木 茂 (Am予約のみ)	山本 廣史
呼吸器科					朝井 克之(Am) (Pm)	望月 孝裕 (Am予約のみ)	望月 孝裕 (Am予約のみ)	佐々木 一義 (Am予約のみ)	
緩和ケア外来									
高齢者脳神経科	坂本 政信 (医療連携室予約のみ)								
心臓血管外科									
神経内科									
漢方外来									
禁煙外来									
股関節再建人工関節センター									
整形外科	新患	岸本 烈純 伊藤 梅志	吉田 剛 森田 大悟	吉田 剛 岸本 烈純	岩瀬 敏樹(樹完全予約制) (松下・伊藤・森田)	浅野 研一 (萩原 和弘)	甲山 嘉一(Pm膝・肩) 伊藤 稔志(Pm)	甲山 嘉一(Pm膝・肩) 伊藤 稔志(Am)	森田 大悟(第1・3・5) 松下 正矢(第2・4)
脳神経外科									
眼科	再診	甲山 優 松下 正矢(Am) 森田 大悟(Pm)	田中 敬生 澤下 光二 (新患・外来患者のみ)	田中 敬生 澤下 光二 (新患・外来患者のみ)	田邊 芳樹(Am)	澤下 光二 (萩原 和弘)	田中 敬生 澤下 光二 (新患・外来患者のみ)	田邊 芳樹 荒井 真木 三澤 由幾 (耳鼻科予約のみ)	田中 敬生 澤下 光二 (新患・外来患者のみ)
耳鼻咽喉科									
口唇口蓋裂センター									
歯科口腔外科	新患	内藤 克美(Am) 中塙 秀史(Am)	中塙 秀史(Am)	中塙 秀史(Am)	中塙 秀史(Am) 鈴木 鼻子(Am)	中塙 秀史(Am) 鈴木 鼻子(Am)	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Am)	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Am)	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Am)
内分泌・代謝内科	再来	中塙 秀史(Pm)	内藤 克美	中塙 秀史(Pm)	中塙 秀史(Pm)	内藤 克美	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Pm)	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Pm)	内藤 克美(Am) 鈴木 鼻子(Pm)
腎臓内科									
リウマチ科									
消化器内科									
血液内科									
感染症科									
形成外科									
皮膚科									
精神科									
産婦人科	新患	高宮 みさき (医療連携室予約のみ)	横田 大輔 川浦 豊貴(Am)	横田 大輔 川崎 真佑(Pm)	高宮 みさき 川浦 豊貴(Am)	横田 大輔 川崎 真佑(Pm)	島谷 優次 余語 宏介(Am)	島谷 優次 余語 宏介(Pm)	島谷 優次 余語 宏介(Pm)
新生兒科									
小兒科	午前	宮本 健 新患	宮城 佳史 内分必外来/膝尺泰子 第4	中村 雅博 西田 光宏	黒田 喬代子 坂井 啓	黒田 喬代子 坂井 啓	西田 光宏 坂井 啓	富本 健 坂井 啓	富本 健 坂井 啓
	午後	専門 外来	担当医(交代制) 神経外来/宮本 健		乳児検診		予防接種外来	中村 雅博 担当医(交代制)	中村 雅博 担当医(交代制)
		不整脈外来							
		新患							
循環器内科	再診	小林 正和	澤崎 浩平	武藤 古澤 健司	アレルギー外来/西田 光宏 (免疫療法外来)	アレルギー外来/西田 光宏 (免疫療法外来)	武藤 真広 坂井 啓	原田 将英 坂井 啓	原田 将英 坂井 啓
放射線治療外来		ベースメーカー	飯島 光晴 (Am予約のみ)	澤崎 浩平	飯島 光晴 (Am予約のみ)	飯島 光晴 (Am予約のみ)	飯島 光晴 (Am予約のみ)	古澤 伸一 佐藤 武藤	古澤 伸一 佐藤 武藤